

ママも  
子供も♥

グングン伸びる

英語力!

# おうち de 語りかけ 英語

語りかけ英語コーチ

Akiha



I love  
your drawing.

Thankyou!



「たった3ヶ月で  
こんなに話せるように  
なるなんて!(感涙)」

講座を受けた 英語苦手ママから大絶賛!



人気講師 Akihaの英会話の秘訣が満載♪

# グングン伸びる英語力！ ママも子供も♡ おうちde語りかけ英語

はじめに

「子供には英語が話せるようになってほしいけど、何が大事な  
の？」

「私も英語がペラペラ話せるようになったら最高だけど、何か始め  
たらいいの？」

子供も私もペラペラ話せたらいいな～！と思ってはいるけど、ペラ  
ペラ英語を話すためのステップが全く分からない！！

そんな風に思うことはありませんか？

本書は、「親子で英語が話せるようになりたい」方に向けて私自身の  
英語の挫折～話せるようになったまでの軌跡をお伝えしながら  
「英語を話すために必要なこと」と「今日からおうちで出来る！語り  
かけ英語のコツ」を学んでいただける本です。

ご挨拶が遅れました！はじめまして、著者の鈴木 明葉(すずき あ  
きは)です。

私は「英語が特別視されず、ごく当たり前に使われる日本社会」を  
目指して現在、子育てをしながらママ向けに英語の語りかけコー  
チとして活動をしています。

今では学校や英語コーチとして英語を教えたりプライベートでも海外の友人と自由におしゃべりしたりと英語を心から楽しんで使えるようになりましたが

「英語が話せない」

これは私の長年のコンプレックスでした・・・。

外国人には出来るだけ話しかけられないよう身を潜める！  
話したいことがあっても英語に出来ないから、なかったことにしておく。

という苦い思い出は数えきれないほど・・・！

「あの人みたいにペラペラ楽しそうに話せるようになりたい！」と思うのに一向に上達しない自分にずいぶん悔しい思いをしてきました・・・。

英語がペラペラになりたい人は

学校で取り組む、難しい文法学習や単語詰め込み学習とは全く別のトレーニングが必要です。

ところが、学校の英語教育では「コミュニケーションに重きを置く」と言われている傍ら、未だに多くの学校では長文読解や文法中心の勉強・・・。

さらには、大学入試に英検が導入された影響でますます英検熱があがり、子供たちが詰め込まなくてはならない単語量が増えている状況。

中学生になると「他の教科の学習もあるし、英語は英検対策だけで精一杯！」というお話をよく聞きます。

英語が受験や英検対策になってしまうと、私のように「学校の英語は得意だけど話せない子」か「英語が難しくて嫌いになってしまいう子」どちらかのパターンにハマってしまう、と自身の経験や、学校で多くの学生たちを見てきて感じてきました。

本書を読んでくださっているママたちは「子供には将来仕事で困らない程度に話せるようになってほしい」「外国人のお友達を沢山作って視野を広げてほしい！」など、お子さんが学校卒業後も英語が不自由なく使えることを願っていらっしゃると思います。そしてママ自身も「英語を話せるようになりたい！」と願っていらっしゃるのではないのでしょうか。

私はこの「親子の英会話力」を身につける方法として、「おうちでママが英語で話しかける、語りかけ英語」が最強の手段だと思っています！

なぜなら、語りかけ英語によって「日本語を介さず英語のまま捉える力」を親子で鍛えることが出来るからです！これは学校や英会話教室に通うだけでは決して得られない、「生涯役に立つ力」です。

本書では

第1章で「学校の英語を猛烈に頑張ってきた私が、留学で挫折したまでのお話」

第2章で「挫折を乗り越え、英会話には何が必要だったかを学んだお話」

第3章で「語りかけ英語のメリットと語りかけ方法」

## 第4章で「語りかけ英語に関するQ &A」

をお話していきます。

読み進めていただくうちに、「英会話に必要なポイント」や「語りかけ英語に必要な考え方」を知っていただき

「英語って難しいと思ってたけど、もう一度頑張ってみよう！」  
「語りかけ英語、今日から始めてみよう！」

とモチベーションを高めるきっかけにしていただけたら嬉しいです。

なお、本書を読んでもらったあなたには、特別なプレゼントがあります！語りかけ英語を実践するためのワークがついておりますので是非受け取ってくださいね！

[今すぐプレゼントを受け取る！](#)

(LINEで「語りかけ」と一言メッセージを送ってくださいね！)

## 目次

### 第1章 英語との出会いと挫折

きっかけ「初めての海外！」

学生時代「私の英語人生を変える出会い」

初めての挫折「劣等生」

アメリカ留学「透明人間のわたし」

### 第2章 飛躍

結婚「アメリカでのリベンジ！」

驚き「英単語は沢山知らなくてもペラペラ話せる」

気付き「ネイティブ英語とシンプル英語」

まとめ「英語を話すために必要なこと」

第3章: 語りかけ英語

語りかけ英語が英会話習得に有効な3つの理由

我が家の語りかけ英語

一人で完結できる英語のつぶやきとは？

娘の変化

第4章 語りかけ英語のよくあるご質問

おわりに

特別な読者5大特典！

1) 簡単英語手遊び歌おすすめ9選

2) 思わず頷く！ 語りかけ英語お悩み回答集

3) 子どもが喜ぶ！ 語りかけの工夫5つ

4) 毎日使える語りかけフレーズ24+超シンプルフレーズ24

5) ママが発音に自信が持てる！ 発音練習動画

[今すぐプレゼントを受け取る！](#)

(LINEで「語りかけ」と一言メッセージを送ってくださいね！)

## 第1章 英語との出会いと挫折

きっかけ「初めての海外！」

私の英語スタートは中学1年生からです。でも、小学生の頃から「英語が話せるようになりたい！」とは強く思っていました。

きっかけは「海外旅行」です。

小学4年生の時に祖父が定年を迎えることになり、記念にみんな  
でハワイに行くことになりました。初めての海外旅行で、機内食の  
マズさや時差ボケのしんどさは今でも覚えています…。

そして、今でも鮮明に覚えているのは、「カナダ人のお兄さんと  
の、言葉のない交流」です。

お兄さんとはバスツアーで前後席でした。私は母のとなりに座って  
いて、カナダのお兄さんが私のうしろ。私は「おお～、みんな背が  
高い！目が青い！かっこいい！」とバス内をキョロキョロ見渡して  
いたのですが！

ふと、うしろのお兄さんと目があつた瞬間、お兄さんがニコツと爽  
やかにほほえんでくれたのです！！

(海外では目が合うと、ウインクされたり、ニコツと微笑まれること  
がよくあります。)

この微笑みが、日本で生まれて日本以外で暮らしたことがない私  
には、相当ショッキングでした。

…そして、とても嬉しかったんです！

「英語は話せないけど、どうにかコミュニケーションを取りたい…」

そう思ってソワソワしている私の気持ちを察した母(←英語話せま  
せん)が「これでも渡しておきな！」と私に授けてくれたのは、

柿の種！(笑)

勇気の種をもらった私は、ドキドキしながらそれを差し出しました。  
すると、またニッコリ笑顔を返してくれるお兄さん！！！！わたし  
は柿の種を渡しただけで、ものすごい達成感でした(笑)

(外国人にとって、柿の種が美味しいのかは謎です…。)

で！話はそれだけで終わらず！最後ツアーが終わるタイミングで、な、なんと！！

お兄さんがカナダのピンバッジをプレゼントしてくれたのです！

・・・どれだけ嬉しかったか！！！今でもハッキリ覚えています。私とお兄さんの間に言葉はありませんでした。

でも、この出来事が私に大きく影響を与えました。

お兄さんは私と柿の種のことなど、すっかり忘れてしまったでしょうが、私は心から感謝しています。

私ももう少し娘たちが大きくなったら、心に残る海外旅行に連れて行ってあげたい！と思っています。  
(早く海外旅行に行ける状況に戻りますように・・・)

## 学生時代「私の英語人生を変える出会い」

そして中学校から、いよいよ英語の授業が始まります。ハワイでの楽しい思い出を胸に、中学からワクワクの英語をスタート！！  
のはずが！！いきなりつまづきました・・・。  
「Be動詞と一般動詞の違いがわからない！」

母に泣きながら聞いた記憶があります。現在完了や前置詞、そもそも並べ方など英語って日本語と違いすぎて本当に難しい！

「英語、わからない……。」



私の英語人生は、いきなり初歩の文法でつまづいてしまい、雲行きは怪しくなりました。

## 英語の救世主、現る！

中学2年生の秋、新しい先生が学校に入ってきました。NY帰りの女の先生。

パンツスーツを着こなして颯爽と歩く姿も、ロングのカールヘアをかきあげて教科書を読む姿も、ネイティブと談笑している姿も、全てが「超」かっこいい！！わたしの英語への憧れは一気に高まりました。

「私もこんな人になりたいっ！！！」

この想いは強烈に私に刻まれ、英語の授業を熱心に聞くようになりました。

「出来るだけ勉強したくない〜！」と思っていたダラダラ人間も「なんのために頑張るのか？」が明確になるとモチベーションが爆発するものなのですね。

目的って大事！！

## アメリカ帰りの親友

同じく中学2年生で、もうひとつ素晴らしい出会いがありました。同じクラスの帰国子女のさっちゃん。(仮名)同じテニス部だったこともあり、とても仲良くなりました。

が、ずっと不思議に思うことがあって。

毎日ほぼ同じ生活をしているはずなのに私は赤点丸子。でもさっちゃんはいつも95~100点。(しかもだいたいどの教科も！)

中2の夏休み、私はさっちゃんのおうちに泊まりに行って衝撃とともに謎がとけました。

(トイトレ中のゴールデンレトリバーのう○ちを、リビングで裸足でフンずけてしまったことも衝撃でしたが。笑)

お泊まり会の夜、私はさっちゃんの部屋で英語のテストを発見しました。(ついこの間の期末試験のテスト。こ、これまた100点！！)

私はそこそこ勉強したと思っていたのに65点とかだったと思います。英語のリスニングテストでは、毎回ラジオ英会話から出題されたのです。範囲も広いし、難しい内容。私は最初から諦めていたのに、「こんな点数が取れる子がいるんだ！」と衝撃でした。

(帰国子女だから勉強しなくても**100**点取れちゃうのかな。)

と思いながら、「どうやったらこんな点数が取れるの！？」と聞いてみました。

すると！！

さっちゃんがすらすらラジオ英会話を暗唱し始めました。先生から「暗唱しなさい！」と言われたわけではないのに、さっちゃんはテスト範囲を全て暗記していたんです！チュンチュン！と鳥の鳴く効果音すら把握していました。私は顎がはずれるほど衝撃を受けました。

帰国子女(=天才)だってこんな努力をしてるんだ・・・！  
自分の「そこそこ勉強した」の基準はなんて甘かったんだろう。

と思い、私はそこから心を入れ替えました。

「得たいものは簡単に得られない。」「天才だって愚直な努力をしている」  
凡人の自分は圧倒的な努力が必要、ということが心に刻まれたのです。

努力の大切さを知った私はそれ以降心を入れ替え、勉強するときは圧倒的に勉強することを誓いました。特に高校3年生の受験期は12～18時間、毎日勉強。

「勉強量と時間なら誰にも負けない！」

そんな思いで英語に関しても同じ問題集・単語帳を何十回と解いて、本当に全てのページが破れるくらい使いこみました。不安と焦りと戦いながら、ひたすら勉強。ものすごく辛い期間でしたが今でも

「あれだけ努力できたんだから、きっとまた頑張れる！」という励みになっています。(さっちゃん、ありがとう！)

結局、苦手な数学が最後まで足を引っ張って第一志望には落ちてしまいましたが、得意の英語に救われ早稲田の国際教養学部に入学することが出来ました。

と、ここまではサクセスストーリーに聞こえるかもしれませんが・・・  
大学入学後、ズドンと底に落ちます(苦笑)

## 初めての挫折「劣等生」

大学入学のワクワクも束の間、自分は圧倒的劣等生だと気付きました。

早稲田の国際教養学部は1/3が外国人留学生・1/3が帰国子女・そして残りの1/3が純ジャパ。

(=純ジャパニーズ。純粹に日本で生まれ育った人のこと。当時はそのように呼ばれていました。)

講義は全て英語。テキストも、質問も、論文も、全て英語！！

教養学部なので、統計や生物学、広告、世界経済など、様々な分野を全て英語で学びます。大量の分厚いハードカバーのテキストを目の前に

「これ、電車の中で読んでる自分、めっちゃかっこよくない!？」と最初はうわついていましたが、そんな気持ちもつかの間、全く授業についていけません。(テキストにはヨダレのあとばかり。笑)先生が話している内容も、留学生や帰国子女が何を質問しているかも、全く理解が出来ません。

「授業で当たりませんように！」

「あの外国人に話しかけられませんかように！」

「あの帰国子女とプレゼングループ組まされませんかように！」

なんて逃げの姿勢……。

実に情けないですが、常に逃げることばかり考えていました。

「あれだけ必死に英語を勉強してきたのに！」

「あれだけ外国人とカフェテリアで談笑することを夢みてきたのに！」

全然話せず聞き取れず、ひっそり身を隠す自分。英語は得意だと思っていたので、その自信は粉々に打ち砕かれ本当に惨めでした。

でもどこかで、こう感じていたのです。  
「留学に行けば全ては解決する！」  
そんな現実は甘くない、ということも知らずに…。

## アメリカ留学「透明人間のわたし」

国際教養学部では大学2年生の秋から約1年、全員どこかに留学することになっていました。英語がもともと得意な帰国子女たちはフランスに行ったり、ブラジルに行ったり！

「色々な選択肢があって面白いな～」と思いましたが、私はやはり英語圏！帰国した先輩の声を聞きながら、地域を選びました。

「日本人ばかりとつるんでいたから全然話せるようにならなかったわ～！」

というとても貴重な(?)先輩の話を参考に、ほぼ留学生がいないアメリカ人だらけの田舎大学を選びました。

私の今までの悩みや劣等感を全て吹き飛ばしてくれる夢の留学！

絶対、英語を話せるようになって帰ってくる！

そんな決意で留学に行きました。

初日から絶叫

留学中は大学寮に住む予定でしたが、学生登録が終わるまでの最初の1週間は自分で手配してホテルに住まねばなりません。治安もあまり調べず行ったので現地に行ってから気づいたのですが、私の留学先はアメリカの中でもなかなか危ないエリア・・・！大学構内にパトカーが巡回していたり、知人がカフェで銃で脅されたり・・・危険な匂いぷんぷんの場所でした。(笑)

そんな地域の宿泊施設です。夜通しドラッグでクレイジーになっている人が外で叫び続け全く眠れませんでした・・・。

そして次の日。

時差ボケもあり起きれず、おそらく朝の11:00くらいまでぐだぐだと寝ていたと思います。

そ、そしたら！！！！

急に黒人の2メートル級の男性が、私の部屋に「バン！」と突然入ってきたのです！

わたしは大パニック！

アメリカにいることも忘れ、思いっきり日本語で叫びました。

「ぎええええやあああああ！！！！」

男性はすぐに出て行きました。

「な、なんなの！？鍵を閉めてたのにどうやって入ったの？鍵壊れてるの？！英語で説明なんてできないけど、そんなこと言うてる場合ではない！」

急いでフロントに助けを求めにいきました。

そしたら！！！！

..あの黒人男性が、フロントのお兄さまでした。(笑)

いやあ、大変申し訳ないことをしてしまいました……。どうも、ベッドメイキングのために入ってくれたようです。

「先程は突然叫んだりして、ごめんなさい！昨日初めて一人でアメリカに来て、不安で眠れない夜を過ごしたこともあって驚いてしまっただけ。」

なーんて、英語で説明できるはずもなく(笑)

“ **sorry!!** “ の一言で終了。

その後、親切なお兄さんは笑顔でペラペラと話してくれましたが、何も聞き取れず私は笑顔でその場を立ち去りましたとき……。とほほ……。

とにかく、何も分からない。何も言えない。

留学は私の想像をはるかに超える大変さでした。

よく考えたら日本にいた時でさえ外国人留学生や帰国子女の英語が聞き取れなかったのに、さらにレベルの高い超高速&スラングだらけのネイティブ同士の英語なんて簡単に聞き取れる訳がないのです……。おまけに誰も日本語では助けてくれない。

日本にいた頃は、授業で分からないことも

「ねえ、あの先生、今なんていった？」

と聞けば全て解決しましたが、ここには日本語を理解してくれる人が全くいません！

“Sorry?”と聞き返しても、超速スピードで同じ言葉を繰り返されるだけ。

毎日朝から晩まで、英語のリスニングCDを3倍速で聞いているような感覚！誰とも日本語を話せないことがこんなに苦痛だとは・・・！

「あ、あたまが痛い・・・。」  
英語を大量に消費し続けると、頭が猛烈に痛くなる。そんな感覚を初めて味わいました。

大変なのは最初だけ！？

留学前は「大変なのは最初の3ヶ月くらいだろう♪」と思っていたのですが、実際にはどんどん辛くなっていきました。

何が辛かって、、、

毎日感じるのは「人からの拒絶」と「猛烈な劣等感」だけ。

日本でとても人にも環境にも恵まれ、ぬくぬくと育ってきた私は少々悲しいことや悔しいことがあっても「これから努力すればなんだってできる！」「きっと誰かが見ててくれる！」と前向きに頑張っていたと思います。

・・・でも、留学に来てから私の心は崩れました。

「自分だけ誰からも必要とされていない」  
「自分だけ存在すら気づかれない」

という異質な日々。



誰もが英語が話せることが当たり前なのに、私は話せない。  
嫌われないよう、ぎこちなく微笑むだけ。

明らかなため息をつかれたり、会話の途中で「もういいわ」と立ち去られることがよくありました。

あんなに楽しみにしていた留学。  
親にも大金を支援してもらった留学。  
日本の友達からは「もうペラペラ？」と聞かれ、恥ずかしさと惨めさ  
でいっぱい。

このチャンスを使いきれない自分がかゆい。  
自分の頑張りが足りないのかな？  
でも、これ以上何を頑張ればいいのか分からない。  
分からない！出来ない！私はダメだ！

助けを求める先もわからず、一向に英語でのコミュニケーションが  
うまくとれない自分を責め続けました。

そのうち、人が近づいてくると心拍数が上がって全身に汗。夜は  
全く寝られない。今振り返ると、あの時は心がおかしくなっていた  
と思います。

それでももがき苦しみながらなんとか1年を終え、無事に必要単  
位は取りました。

さすがに1年いたのでテニスのサークルに入ったり、教会の心優  
しい人々にお世話になったり、ちょっぴり恋愛したり(笑)楽しい思  
い出もあります！英語力も伸びました。

それでも私がずっと夢見てきた留學生活とは程遠く、完全に自分  
や自分の英語に対する自信を失ってしまいました。

日本帰国後も1年くらいは、人と日本語を話すことすら少し怖くて  
「私といってもこの人は面白くないんじゃないか」  
「私は受け入れてもらえないんじゃないか」  
そんなふうを考えてしまっていたほどです……。

この本を読んでくださっている方のなかで  
「もっと学校で一生懸命勉強してれば、ペラペラになってたかも。」  
「中学生で英検2級が取れれば子供の英語は安心」  
と思われる方がいるかもしれません。

でも残念ながら私の結論としては、「学校や英検の勉強では話せるようにはならない。」です。

私は学校の英語や受験英語は得意でした。自分は英語ができる人間だと思っていました。  
でも全然話せず、完全に留学で自信を失って戻ってきました。

私の「語りかけ英語コーチ」の原点は、この留学中の挫折にあります。

必死に勉強してきたのに、全く歯が立たない無力感。

自分の娘にも、日本中の子供たちにも、もちろん大人にも、こんな惨めで自分のことを責め続けてしまうような経験はしてほしくありません。

もちろん受験英語や英検の勉強を頑張ったことは無駄ではありません。  
私が希望の進路に進めるよう、力を出し切ってくださいました先生方には心から感謝しています。

ただ、英語が受験やテストのためだけになりがちで、一向に英語が話せる人が増えていない日本の英語教育には強い危機感を感じています。

..しかし、そんな中！  
娘を育てていくうちに、一つ明るい光が見えてきたのです。

それが語りかけ英語。

おうちでの英語の語りかけによって  
机に向かった勉強ではなく、本当に生きた英語が身に付く。  
英語は好きとか嫌いではなく「ただの言葉」という感覚が身に付く。

しかも英単語を豊富に知ってるペラペラママだけが活用できるものではなくいま英語が話せないママも、話す力を子供と一緒にどんどん伸ばしていける！

語りかけ英語の威力は底知れません。

もし仮にあなたが「英語は難しい・・・」と感じていたとしたら、私はこのようにお伝えします。

今まであなたが苦手感じてきたテスト英語と英会話は違う！  
大事なことをおさえて練習すれば、絶対にあなたも子供も英語が話せるようになる！

その「英会話に大事なこと」は次の第2章でお話ししますね。

## 第2章 飛躍

まずは、自信喪失した私がどうやって英語コンプレックスを克服したのか？をお話していきたいと思います。

### 結婚「アメリカでのリベンジ！」

私は大学卒業後、メーカーの海外営業としてバリバリ働きはじめました。

引き続き英会話に自信はない私でしたが、他のおじさまたちより英文メールのやりとりや基本的なコミュニケーションは出来たので、海外出張も15ヶ国以上させてもらいましたし、インドやヨーロッパ、韓国、アメリカなど世界各国のお客様と仕事が出来て本当に良い経験をさせていただきました。

(これは英語を勉強してきてよかった、、と思えた瞬間でした！)

そして入社5年が過ぎたある日のこと・・・

会社同期の彼氏(今の夫)が、突然アメリカに駐在することが決まりました。

2ヶ月後には彼はアメリカに異動！という状況だったので、急遽結婚を決め両家の顔合わせや婚姻届など・・・バツバツ！(笑)

海外転勤の多い会社だったのでアジアは覚悟していましたが、英語嫌いな彼(当時TOEIC300点台)にアメリカ駐在はないだろう！と思っていたので、本当に驚きました(笑)

「アメリカでまた暮らすのか・・・わたし大丈夫かな？」

と過去の悪夢がよぎりましたが、

「ここを乗り越えなくては、私は過去の挫折を抱えたままになる。」

「一度退職したら元のキャリアには戻れないだろうけど、それでもよかった！と思えるくらい絶対成長して帰ってくる！」  
という気持ちで、退職。

この決意が大きなブレイクスルーとなりました。もし再度アメリカに行く機会がなかったら、私は英語に対して一生コンプレックスを抱えたままだったかもしれません。

いざ、アメリカへ！

「英会話の学び直し」を決意した私は、アメリカでとにかく様々な手段を使って英会話を学び始めました。

具体的にはYoutube、オンライン英会話、公園で出会ったママ友と話す、独り言英語、ポッドキャスト、カルチャースクールでの英会話レッスン、アメリカドラマをシャドーイング、洋楽を聞く、子供の絵本の多読etc...

ありとあらゆる学習方法を試していきました。・・・でも、学べば学ぶほど不安になっていきました。

「いくら学んでも知らない単語が出てくる・・・」

「いざ話そうと思うと、やっぱり英語が出てこない」

「自分が、ペラペラになる日は一生訪れないんじゃないか・・・？」  
こんな風に思い始めると、また弱気な自分が現れます。

「私にはやっぱり語学の才能がないのかも・・・(涙)」

そんな時、ウクライナ人ママとの出会いがありました。

## 驚き「英単語は沢山知らなくてもペラペラ話せる」

私はカルチャースクールの英語レッスンに週に1回通っていました。

本場アメリカの英語レッスンといっても日本と授業スタイルはさほど変わらず、プリントが配られて文法問題を解いたり新しいイディオム(表現)を習ったりと、先生が授業を主導して進めるスタイルです。

そのレッスンでも新しいイディオムを覚えては次の日には忘れてしまう自分。

「こんなんでも英会話ほんとうに上達するのかな・・・？」とやる気を失いかけていました。

そんな時、カルチャースクールで偶然出会ったウクライナ出身のママ友が、私に素晴らしい気づきを与えてくれたのです！

彼女の名前はハナ(仮名)。笑顔がたえない、とても素敵な女性でした。ハナとは、偶然にも同じマンションに住んでいたり旦那さんのお仕事の都合で最近アメリカにやってきた。という境遇も似ていて、すぐに仲良くなりました。

そんなハナにはすでにアメリカ人のママ友が沢山いて、とても楽しそうでした。はたから見ると、ハナの英語力は別に高くはないんです。でも彼女はとてもおしゃべりで、英語でもストレスフリーで楽しそうにマシンガントーク！

一方の私は英語で何か話そうと思うと「これ英語でなんて言うんだろう？・・・分からない！」で止まってしまう。

同じノンネイティブなのに、彼女と私は何かが違う！！  
そう感じた私は「なぜ自分は英語が話せないのか？」をじっくり考え始めました。

私に足りなかったものは？

どうして私は英語でマシンガントークが出来ないのか？を考えた時に、ひとつ思い当たることがありました。

「100%正確に英訳しようとしすぎている」ということです。

会話をしていると伝えたいことが頭の中に浮かびます。私はその出てきた日本語を翻訳するかのようになり、忠実に英語にしようとしていたのです。(いわゆる学校の英作文ですね..)

すると、  
「あれ、この単語は英語に出来ないぞ」とか  
「自分で言いたいことが分からなくなってきた！」と考えすぎてパニックになってしまう。

一方ハナは難しい単語は使わずに、言いたいことを次々と表現していきます。

「ハナの英語はシンプルだからこそ、ペラペラ話せるんだ・・・！」ということに気づきました。

私は27歳になるまで、この大事なポイントに気が付きませんでした。

なぜなら、私は「日本語を忠実に英訳する練習しかしてこなかった」からです。英語をペラペラ話すためにシンプルな英語に変換する、という概念がありませんでした。

日本語を完璧に表現できる英訳を探していたからこそ「沢山言葉を知らない、英語はペラペラ話せない！」と、英語をとて難しいものにしていました。

高校英語も「難しい英語を使わなくてはいけない」という感覚を助長していると思います。

高校では受験に備えて難しい英語問題ばかり解くので、「英語は難しいもの」という感覚が日本人の意識の根底にあるのではないのでしょうか・・・(少なくとも私はそうでした。)

話が戻りますが、ハナの英語を聞いてから「英語には2種類ある」ということに気づきました。

「ネイティブ英語」と「シンプル英語」です。

## 気付き「ネイティブ英語とシンプル英語」

「ネイティブ英語」とは、数万個の語彙力でペラペラ話す英語のこと。

「シンプル英語」とは、基本文法と基本単語でペラペラ話す英語のことです。

ハナが使っていたのはシンプル英語。

シンプルだからこそ、習得しやすいし瞬時に出てくる。

実際ペラペラ話すノンネイティブの多くがシンプル英語を駆使しています。



このことに気づいた私は、自分の中の「英語ペラペラの定義」を変更。  
ペラペラ＝「出来るだけシンプルな文をたくさん話せる人」としました。

そして、その日から極力シンプルに、瞬発的に英語を出す練習を始めました。相手は、英語で話すのを許してくれる人であれば、もはやだれでも構いません(笑)

公園で出会った人、スーパーの店員さん、オンライン英会話、言語交換(日本語を教える代わりに英語を教えてもらうパートナーシップ)、プリスクールの先生・・・ありとあらゆる人と沢山話をしました。

思ったことを瞬間的に口に出す力を身につけるためにも「100%忠実に英訳したくなる気持ち」とはオサラバ！  
とにかく「シンプルに」「素早く」言葉を出すことに集中しました。

会話中、知らない単語やスラングにも沢山出会いましたが、新しい単語をやみくもに覚えるのはストップ！基礎単語だけで表現しきる練習をしたのです。

最初はシンプルな英語すらスラスラ出てこないのですが、何度も何度も練習を続けるたびにどんどん上達します。次第に「あれ、新しい単語やフレーズを知らなくても、伝えられるんだな～！」と自分の英語に自信が持てるようになってきました。

シンプルだからこそ上達が早い！

そして何より  
自分の思いを相手にスラスラ伝えられるのが楽しすぎる！！

スラスラ話せるからこそ  
相手が自分の話に笑ってくれる！  
相手が自分の話に乗ってくれる！！

ここに、私がずっと憧れてきたものを手にした感覚がありました。  
結果4年間のアメリカ生活は本当に楽しいものになりました。

アメリカ、メキシコ、インド、トルコ、ウクライナ、南アフリカなどなど、さまざまな国のママ友と一緒に公園や互いのおうちで遊びながら、国による子育ての考え方の違いを知ったり違う国の家庭料理を教えあったり。時にはワンオペ子育てが大変すぎてお互い泣きながら励ましあったり。

彼女たちの存在のおかげで、大変な乳児の子育ての時期はハッピーな思い出で埋め尽くされました。  
(アメリカ駐在中は日本人ママ友にも本当に本当に支えられました！！ 数々の素晴らしい出会いに心から感謝しています。)

## まとめ「英語を話すために必要なこと」

大切な学びだったので繰り返しますが、私に必要なだったのは語彙力を高めることでも難しい文法の理解を深めることでもなく！  
「出来る限りシンプルな英語で、沢山話す練習」でした。  
これは私だけでなく、多くの日本人に最も必要な練習だと思いません。

この本を読んでくださっている方の中には  
「英語も表現豊かにかっこよく話したい！」  
「子供には将来ネイティブのような英語を話してほしい！」  
と思われる読者の方もいらっしゃると思います。

ネイティブの英語ってカッコいいですよ！私もずーっとそう思っています！！

ただ段階がある、と思うんです。

私たちノンネイティブは、まずは「基礎文法や単語でペラペラ話せる状態」を目指す。

これが本当～～～に大事です。

ネイティブだって赤ちゃんの頃は1語から始まり、2～3語文になり、、、と何年間も毎日5～10時間ほどこのシンプル英語を駆使してアウトプットをし続けてきた訳です。だからこそ今の英語力。英語のアウトプットもインプットも圧倒的に足りない状態のノンネイティブが、シンプル英語を飛び越えて大人ネイティブ級に話そうとすること自体、かなり無理があるわけです。

ちなみにネイティブの大人は約30,000個の語彙を使いこなすそうです。私たち日本人は大学受験までの6年間、英単語を必死で覚えてもまだ5,000個程度。残りの25,000個、1日3個、1個も忘れず毎日覚え続けても・・・25年かかる計算！！！！

シンプル英語を習得する前にネイティブ英語を目標にしてしまうと昔の私のように、いくら勉強しても「言いたい英語が一向に出てこない状態」が続きます。

それではいつまでたっても英語コンプレックスは消えません。

皆さん、心当たりはありませんか？

「てるてる坊主」「アジサイ」など、英語で言えない言葉に出会うたび「覚えなきゃ！」と思う感覚。

しかし頻出単語でもないのに「覚えなきゃ！」と思っていると、単語地獄にはまってしまいます。(まさに昔の私・・・！！)英単語は無限に出てくるのに、使わなければ一瞬で忘れるもの・・・。

## 大事ななのは「基礎単語の使い方」

私たちは基礎単語とじっくり向き合って、それらをうまく使えるようになれば、新しい単語を覚えなくても十分表現しきることが出来ます。

たとえばアジサイはhydrangeaといいます、あなたは1ヶ月後まで覚えていられますか？たとえ覚えていたとしても、アジサイが咲かない国の人にはhydrangeaと伝えても全くイメージができません。

一方、A flower in the rainy season. (雨季の花)ならどうでしょう？

中1で習う単語だけで表現できますし、どんな相手にもなんとなくイメージは伝わりますよね。

英語は自分の知識を証明する道具ではなく相手に分かりやすく自分の考えを伝えるための道具。

シンプル英語を意識するようになってから、改めて英語を使う目的を考えさせられました。

そして、ここでもう一つお伝えしたい大事なこと。

この「シンプル英語」は相手に分かりやすいだけでなく、英語を苦手と感じているママたちでも十分習得が可能なのです。頻出ではない単語の暗記は最小限にして、中学の基礎文法・基礎単語を

駆使したシンプル英語をひたすら口に出して練習していきましょう！

私は現在語りかけ英語コーチとしてママたちにシンプル英語をお伝えしていますが、英語を話すことに苦手意識を持っていたママたちからは

「3ヶ月でこんなに自分が英語で話せるようになったなんて信じられない！」

「こんな実践的なシンプル英語を学校で教わりたかった！！！」  
など嬉しいお声を沢山いただいていますよ♪

### 第3章：語りかけ英語

#### 語りかけ英語が英会話習得に有効な3つの理由

ではここからは親子の英語習得に語りかけ英語をどうしてオススメするか？を具体的にお話していきたいと思います。

#### 声かけ英語が有効な理由1：毎日口に出して練習が出来る

英語が話せるようになりたい！と英会話教室を検討する方も多いですね。ただ、残念ながら大人も子供も英会話教室に週1回行くだけではペラペラにはなりません。週に1回のレッスンでは練習量が圧倒的に足りないのです。

例えばピアノをイメージしてみてください。

あなたは週1回、ピアノの弾き方を教えてもらっただけで、思い通りにスラスラ弾けるようになると思いますか？

・・・かなり難しいですね。(汗)

毎日の練習があつてこそ、最初たどたどしかった指の動きがだんだん滑らかになり、楽譜を見ずともスラスラ弾けるようになっていきます。

英語も一緒です。

いくら先生に週1回教えてもらったところで、毎日口に出さなければ舌も脳も全くスムーズに動かないまま。。そして使わないフレーズはどんどん忘れていきます。また、教室で習う英語は非日常フレーズが多いので「せっかく習っても実際の生活では使いにくい」と難点があるのです。

一方、語りかけ英語で使うフレーズは毎日の生活や遊びで使うものばかり。使いたいフレーズが絞られてくるので集中して何度も何度も練習出来ます。何度も練習するうちに、頭で一生懸命考えなくても口から出てくるようになります。

## 語りかけ英語が有効な理由2: 英語のまま捉えられる

語りかけ英語のすごいところは

「親子ともに動作や物を日本語を介さず英語で捉えられるようになること」です。

例えば Wake up / Get up 。

Wake up は目を覚ます、Get up は体を起こす動作、と明確な違いがあります。でもテキストで学習すると、それぞれの動きをイメージする機会がありません。

一方おうちで日常的に英語を使っていくとwake up /get up はもちろんsee/lookの違いやearly/fastの違い、get on/get inの違いなど、基本的な英単語のイメージが浮き彫りになってきます。

英語はイメージが命！

語りかけ英語では、実際の動作や目の前のアイテムを直接英語にしていくので、親子で日本語を介することなく英語のまま捉えられるようになるのです！

語りかけ英語が有効な理由3: 英語が日常にあることが普通の感覚になる。

「英語は特別なものではなく、当たり前に誰もが使うものだ」という感覚はママにしか伝えられません。

いくら学校で英語がよく出来たとしても、日常的に使う習慣がなければ、その子にとって英語はまだまだ特別なもの。生活の中に当たり前存在するものではないですね。

「みんながいる前で間違えたくない、上手に言わないといけない」という学校での緊張感は、かえって英語への特別感や恐怖心を助長してしまうかもしれません。

一方ママが恥ずかしがらず、日常的に英語を使うことで、英語は「嫌いとか好きとかではなく、ごく自然に存在するただの言葉」という感覚を小さい頃から育てることができます。この感覚こそ、将来自分の考えを英語で堂々と表現出来る土台になるのではないのでしょうか。

## 我が家の語りかけ英語

次に、実際の我が家の語りかけ英語の変遷についてお話していきたいと思います。

## 英語で語りかけを始めたきっかけ

私はアメリカで娘2人を出産し(色々カルチャーショックでした！)、長女が3歳になった頃に日本に帰国しました。

アメリカにいる頃は、私は自分の英会話力を磨くことに精一杯だったのと、当時長女が0～2歳で「まずは日本語を話してほしい。」という思いもあり、娘の英語力を上げることは考えていませんでした。

娘に英語を話しかけることはありませんでしたし、母に録画してもらった「いないいないばあ」や「おかあさんと一緒」のDVDが大好きで、家では完全に日本語漬け。

それでも英語の絵本を読んだり現地のお友達と遊ぶ機会があったので(といっても、2歳なので子供同士は会話のある遊びではなかったですが・・・)娘も基本的な英単語(動物や色の名前など)は知っていたんです。

ところが！

長女が3歳を過ぎて日本に本帰国してからというもの、みるみるうちにその基本的な単語すら娘は忘れていきました。

ついには

「ねえねえ、英語でりんごってなんていうか知ってる？バナナって言うんだよ！」

と自慢げに話す娘を見て、こりやまずい！と思いました(笑)

こうして、我が家でおうち英語(おうちで日常的に英語に触れ合う活動)がスタートしました。



## 我が家で最初に始めたおうち英語の取り組み

我が家で最初に始めたことは以下3つです。

- ・英語のDVD(Youtube含む)
- ・英語曲の掛け流し(Amazon musicが中心)
- ・英語の語りかけ

他の英語教材は特に使っていません。

お試しサンプルなど様々に取り寄せてみましたが、飽きっぽい娘 & きっちりした性格ではない私が何年間も教材を使いこなすイメージが湧かなかったからです。

(注:あくまで我が家の場合は、です。今まで出会ってきた受講生さんやインスタで出会ってきた方々は教材を上手に使いこなしてお子さんの英語力をグングン伸ばしていらっしゃる方も多く、教材の質やママたちのお取組みに感動しております。)

### 3才半からの英語の語りかけスタート！

話は戻りますが「りんごはバナナ事件」(笑)をきっかけに3歳半のころから語りかけをスタートしました。

急に私が英語で声をかけるようになったので、娘はびっくりしたようでした。

「英語やめて！」「日本語で話して」と言われることもしばしば。。

誰でも、日本語が通じるママが急に違う言葉を話し始めたら嫌ですよね。(苦笑)娘の反応はごく普通なものだったと思います。

嫌！と言われて気をつけたこと

まず一番に、「嫌」と言われた時は娘の気持ちを尊重するようにしました。

「やめて」と言われたときはこちらもイヤな顔をしないでストップ。「日本語で話して」と言われたときはすぐ日本語に切り替えました。

内心「いつまでも嫌！が続いたらどうしよう。」と焦りましたが、娘に強制するほうが英語アレルギーになってしまうと思ったので、ここはぐっと我慢。。。そして、また忘れた頃にしれっと英語の語りかけを始める(←ここがポイント)ということを繰り返していきました(笑)

ふたつめに気をつけたことは、「さりげなさ」です。

りんごを渡すときに、さりげなくappleと言ったり娘の作品をさりげなくgood!と褒めたり。教え込もうというより、空気のように英語を伝えていきました。

この「空気のように」というのがとても大事なポイントだと思います。

私が教え込もうと必死になってしまったり、娘からの返答を期待してしまうと娘の不安が「やめて」の反発となってあらわれます。だからこそ、あくまで「さりげなく」「発話を引き出そうはせず」私一人で完結できる英語のつぶやきを中心に続けていきました。

一人で完結できる英語のつぶやきとは？

一人完結できるつぶやき、といってもなかなかイメージが湧きにくいですね。

ちょっとここで1つ例をあげてみたいと思います。

◆つぶやきの例:娘が塗り絵をしたい。というシーン

娘「ママ、塗り絵しよ」

私「Sure! Mommy likes the dog. (犬を指差して、ぬり絵を始める)」

娘「わたしはネコー!」

私「Oh, you want to color the cat ! cute!」(猫を塗りたいたんだね。かわいい、と伝える)

娘(ピンクで塗っている)

私「Oh! Pink! Nice color! I will use green」(娘の色を伝え、自分は緑を取り出す)

という感じで、ママが子供や自分の行動を言葉にしていきます。

娘からは何の返答がなかったとしても

「あ、この塗る行動はcolorっていうんだ」

「Niceって褒めてくれてるのか」

というのが娘に自然とインプットされていきます。

反対にこんな例もあります。

◆反発例:娘が塗り絵をしたい。というシーン

娘「ママ、塗り絵しよ」

私「Sure. What do you want to color? 」

娘「なんて言ってるの? わからない」

私「なんのぬり絵したい? って聞いたんだよ。」

娘「ネコ」(ピンクで塗っている)

私「What color is it?」

娘「(なんで質問ばっかしてくるの!)ママ英語やめて!」

少し極端だったかもしれませんが、まだ英語の理解が足りない時に、こういう尋問のような質問を続けていたときは娘の反発も多かったように思います。

母として、ついつい「教えないと・発話させないと」という気持ちが強くなってしまいがちですが、あくまで親子の時間を楽しみながら、シンプルな言葉のシャワーを浴びせる感覚のほうが英語を受け入れてくれやすかった、と振り返って思います。

ちなみに子供に英語で聞きたいけど、まだ理解できないだろうなと思った時は、子供が理解出来るよう英語の直後に日本語も入れました。

“What do you want to color?”の後に「何の塗り絵する〜?」と聞くイメージです。

「できるだけ和訳を入れずに英語だけで会話したほうが良い」という意見もありますが、私は「娘との会話のキャッチボールがスムーズにいくほうがストレスが少なく娘を受け入れてくれやすい」と思い、このような方法を取ってきました。

この方法を繰り返すうちに、わざわざ日本語を入れなくても英語で理解してくれるようになったので、日本語を入れないことにこだわらなくても大丈夫だと思っています。

(英語だけにこだわりすぎると、ママも苦しくなってしまいますしね!)

ちなみに、ここで入れる日本語は直訳じゃなくて構いません。日本語だったらここでなんて伝えるかな〜?と考え、自然な会話を意識してみてくださいね。

子供でも大人でも学習するときは、「理解出来ること8割+ちょっと難しいこと2割」が一番効率的だと言われています。難しいことが多すぎると途中で嫌になってしまふし、理解出来ることばかりだと成長しない。

特に「英語やめて！」と言われているお子さんの場合は、お子さんの理解度レベルに合わせた語りかけ(英文の長さや単語のレベル)を一度見直してみてくださいね。

## 娘の変化

語りかけ英語を始めて1ヶ月くらいは「英語やめて」がありました。私がしれっと英語(笑)を続けていくうちに英語の語りかけに過剰な反応を示さなくなってきました。

それだけでなく、繰り返し使ってきたフレーズに対して行動してくれるようになってきたのです！

(Bring a plate, please. というと、お皿を取りに行ってくれるなど)

さらにインプットが進むと、私が日常的に口にしていたフレーズを娘が発話しはじめました。(Are you sleepy?/ Come here!/Wake up!など)

私が口にすればするほど、娘がどんどん英語を吸収していく！それはとても嬉しくて楽しい発見でした。実際多くの受講生さんからも「私(ママ)が語りかけで使っている言葉を子供が発話するようになりました！」とのお声をいただいています。

平日は保育園で朝から夕方まで日本語漬けですし、家庭内の日本語も大切に思っているのが我が家の英語の語りかけとしては全体の3割程度。そのくらいの割合でも続けていくことで、英語で話

しかけると6歳長女も3歳次女も瞬時に返答するし(日本語と同じくらいのスピード感なので日本語訳をしていないと思います)  
長女は2~4語文+単語を駆使しながら、オンライン英会話で25分、外国人の先生とカードゲームが楽しめるレベルにまで育っています。(最近は自作の英語歌を歌うように・・・！)

我が家はいまは英語3割程度がちょうどいいですが、もっと英語力を高めたいと思ったら英語の割合を増やす。逆に毎日3割も英語を取り入れられない！というご家庭では、出来る範囲から始められるのが良いと思います。様子を見ながら各ご家庭で調整してみてくださいね。

## 第4章 語りかけ英語のよくあるご質問

私の公式LINEアカウントで語りかけ英語のご質問を募集したところ、沢山の方からご質問をいただきました！  
ご協力いただいた皆様には心より感謝申し上げます、ありがとうございました。

### ●ご質問

4歳前からのスタートで完全日本語優位です。日本語で話して、と言われることがあります。上手な対処法やアドバイスなどあれば知りたいです。

by ひーまま さん

by konikoni さん

日本語で話してと言われると、ママは対応に困りますよね。  
語りかけ初期のころは「英語わからない！」とストレスを感じさせないことが大事だと思います。

私は「やめて！」の時期に特に意識していたのは以下3点です。

1) 英語の質問は出来るだけしないで、子供の行動や目の前の状況を英語にしていける。(例:おもちゃだらけの部屋に、"Oh, so many toys!"と指をさすなど。)なんとなくでも子供が想像出来る内容を英語でシンプルにつぶやく、というイメージです。

2) 理解出来なさそうな英語は直後に日本語を入れる。(例: Please take turns. 順番だよ、など。)

3) 日本語で話してと言われたら日本語にして、また時間を置いて語りかけ英語を始める。

知っている単語やフレーズが増えていくほど「わからない」「英語やめて」が減ってくると思うので、まずは上記3点を意識して継続していくのが良いと思います！

#### ●ご質問

子供は単語や文章が出てきていますが、私自身が英語が苦手。特に外で語りかけたくとも恥ずかしさが勝ってしまいます。英語を話すことが当たり前にするためには外での語りかけもしたほうが良いでしょうか？

by yuka\* さん

ママが外で英語を話すのが恥ずかしいお気持ちはとてもよく分かります..

が！お子さんが英語で話しかけてくれるようであれば、ぜひママも英語で返してあげてください！(^ ^)

ママが恥ずかしがっていることが伝わって「英語を人前で話すことって恥ずかしいんだ」とせつかくのお子さんの発話意欲が失われてしまっは残念ですよね。

ママが英語に自信がない。ということであれば、単語だけで返してあげるのでもまずは十分！お子さんが言った英語をニコニコ繰り返し返してあげるのも、おすすめです(^^)

●ご質問

語りかけの文法や言葉が間違っているでも話しかけて大丈夫でしょうか？

by くまさん さん

by 『海と空と太陽と』 さん

by kekke\_mama さん

語りかけの間違いは、細かく気にしすぎなくても大丈夫！英語の絵本やDVDなど他のインプットもあれば、お子さんは間違いを自分で修正出来る日がきます。

もちろん間違いっぱなしではなく、疑問点は調べて改善していく姿勢をママが見せてあげられるのがベストだと思いますが「間違いちゃいけない！」と思うと、なかなかママが英語を出せませんし、お子さんも「間違いちゃいけない！」と感じてしまうかもしれません。教えないと・・・と気負わず、ママも一緒に学びたい♪という気持ちで楽しく語りかけするのが一番だと思います！

●ご質問

ル一語になってしまっていますが、出来るだけ避けたほうがいいのでしょうか？

by すずママ

名詞レベルなら良いと思います！（例えば あ、ここにstarがあるね！など）

ただ、starsはbeautifulでtwinkleしてるね！など、英語と日本語がごちゃごちゃに混ざるのはオススメしません。英語と日本語が混在して語順が掴めないからです。



一方、お子さんのルー語は自然と治っていきますので訂正しなくても大丈夫ですよ♪

●ご質問

子供が英語楽しいと思えるような語りかけはありますか？子供が楽しんでやりとりしてくれる方法はありますか？

by yummyfebruary さん

by ユイピンママ さん

お子さんはどんな遊びが好きですか？お子さんによって違うと思いますが、好きな遊びを英語ですると食いついてくれるのでおすすめです！我が家ではおままごとが大好き。おままごとを英語ですると、あまり嫌がりませんでした。

遊んでいる最中にママが失敗したり、トラブルを作るのもオススメです！

Ouch! It's too hot.と火傷したフリをする。

It's yucky! 不味い！という顔をする。

I can't do it! Please help me! 泣くふりをする。など。

ママも失敗するんだ！ママも出来ないことがあるんだ！と隙を感じさせると、安心感があるのか英語にもかかわらず喜んでお世話してくれました(笑)我が家の例がご参考になれば幸いです。

●ご質問

声かけ出来るフレーズが少なく、声かけのレパートリーを増やしたいです。何かいいアドバイスはありますか？

by Zukko さん

Peppa pigや The curious Georgeなど、日常生活を描いたアニメや絵本からは沢山のフレーズが学べます。お子さんと一緒に楽し

みながら「あ、このフレーズ使える！」と思ったものをメモする習慣をつけると、英語のアンテナが高まりますよ！

あとは声かけ英語フレーズの本を1冊買ってみるのも良いですね！

「井原さんちの英語で子育て」は日常の覚えやすいフレーズばかりが載っているのでオススメです。

まずはお金をかけず語りかけしてみたい！という方は、本書読者特典で「毎日使えるフレーズ48」をプレゼントしておりますので、そちらをみて実践してみてくださいね。

(本書巻末か目次にある読者プレゼントリンクから受け取ってくださいね！)

#### ●ご質問

語りかけ英語はどのくらいのレベルまで親が頑張って話しかけたら良いでしょうか？

by kotoneko さん

まずは中学で習った文法・単語を使ったシンプル英語の語りかけで十分だと思います！

難しい文法や長文を使って語りかけても、お子さんに伝わりにくいですし、お子さんが真似することができません。ママとしても語りかけのハードルが低いほうが沢山話しかけられますよね！

まずは身の回りのものや日々の動作をシンプルな2-3語文で、伝えられるレベルを目指していきましょう！

#### ●ご質問

自分の発音に自信がない状態で語りかけをしても大丈夫でしょうか？

by smile さん

by はるママ さん

子供は大人より断然耳がいいと言われていています。CDやDVDなどのネイティブ英語もしっかり聞かせていけば子供は自然と音を吸収してくれるようになりますので、あまり気にしなくても良いと思います。

日本はネイティブ信仰が強いので(私もそうでした！)、発音が気になるかもしれませんが、英語を話す人口の8割がノンネイティブの時代。インドやドイツなど、それぞれの国に訛りがありますが、彼らは全く気にせず堂々と話しています。

「誰もが英語を当たり前を使うもの。」という感覚を育てる意味で、ぜひママも堂々と英語で語りかけをしてほしいなと思います。

そうはいつでも発音に自信をつけたい！ということでしたら各アルファベットの発音(単音のフォニックス)だけでも学ぶと発音が良くなっていきます♪

アルファベットの発音練習動画もプレゼントに入れておりますので、是非発音を向上させたい方は動画を見て練習してみてくださいね。

#### ●ご質問

子供にはいつかは単語でなく、文章で話せるようになってほしいと思います。どのように促していけばいいのでしょうか？

by あんこ さん

単語のインプットを「沢山&繰り返し」がオススメです！

たとえば、eat と bread を知っているのであれば、その次の段階として eat bread をフレーズとして何度も伝えてあげることで使い方を理解していくようになります。

1度や2度では覚えられないので、毎日の生活の中で習慣になっている行動やお願いフレーズを「繰り返し」「さりげなく」英語で伝えていくのがポイントです！

ちなみに、「単語だけでも発話している」というのがすでに素晴らしいことです！「なかなか文章で話してくれない」とモヤモヤしてしまうかもしれませんが、単語だけ・Yes/Noだけでも大変立派なコミュニケーション！

あまり文章での発話は焦らず、気長にコツコツ、インプットしてあげてくださいね。

#### ●ご質問

「○○ってどういう意味？」と日本語で聞かれた場合、その英単語の意味や質問内容を日本語で答えてもいいのでしょうか？

by 匿名さん

はい、私も必要に応じて日本語で答えています(^^)

子供の興味は一瞬で逸れるので、興味を持ってくれたときに子供が分かる形で伝えるのが一番だと思っています。

一方、この説明なら英語でもわかってくれそうだな！と思った場合や指さしたりジェスチャーで伝わりそうなきには英語で伝えています。

例えば、Please lower the volume. (音量さげてね)と言った時に「なんて言ったの？」と聞かれたら、耳をふさいで困った顔をしながらloud!と言ったり、Lower pleaseと言いながら音量を下げるボタンを押して伝えることもあります(^^)

## ●ご質問

時間がない中でも、親子で一緒に楽しめるような遊び・歌などはありますでしょうか？子供は2歳です。

by たかよさん

我が家も平日は保育園で毎日バタバタなので、とてもわかります！！手遊び歌は1～2分でどこでもできるので、とてもオススメです。

今回読者プレゼントで簡単な手遊び歌9つを動画にしてみました♪お子さんが好きそうなお歌を鼻歌や公園、お風呂などで歌ってみてくださいね！

## (番外編) オンライン英会話を嫌がる！

最近オンライン英会話も色々ありますよね。価格も良心的だし、海外の先生と英語で触れ合う機会が頻繁に取れて、なんて良い時代になったのだろう！と思います。

一方、「オンライン英会話で話す機会を増やしたいけど、なかなか子供が集中してくれない・・・」というお悩みもよく聞きます。集中できない理由として「オンラインで25分集中できる年齢かどうか？」もあります。

もう一つ「先生の英語が理解できるレベルか？(十分に英語がインプットがされているか?)」も重要な要素だと思います。

アウトプット(発話)を急ぎすぎて十分なインプットがないまま、オンライン英会話をスタートさせてしまうと「先生の英語が理解できない不安」と「目的もわからず発話練習させられる苦痛」で「英語いや！」と言われてしまったりします。オンライン英会話でアウトプットの練習をするのは、おうちで沢山インプットしてからでも十分だと思います。

今お子さんの発話がないことに焦る必要はありません。  
「早くアウトプットしてほしい！」と思うママのお気持ちもとてもよく  
わかりますが、幼児期の間はとにかくインプットの量！だと思っ  
て、根気よく語りかけや掛け流しでインプットを続けてくださいね。

インプットした分だけ、あとから必ず芽が出てきます！！！！

みなさまの楽しい語りかけ英語を、心から応援しています！！

### ●Special thanks:

残念ながら、この書籍内でご紹介しきれなかったご質問も多数あ  
り……。そちらのご質問については「語りかけ英語の質問回答集」  
という形で読者特典プレゼントとしておりますので是非お受け取り  
ください！みなさんが思わず頷いてしまうお悩みも多いはず♪

### 今すぐプレゼントを受け取る！

(LINEで「語りかけ」と一言メッセージを送ってくださいね！)

ご協力くださった方々に心よりお礼申し上げます(順不同)  
コマさん、Kocoウサギさん、みおっくんさん、ワイアイさん、yuitaiさ  
ん、とまとさん、Emilyさん、poponさん

本当にありがとうございました！

おわりに

最後までお読みいただき、本当にありがとうございました。

本書に書いた通り、私は長い間英会話コンプレックスで

「わたしには言語の才能がないんだ」  
「英語をペラペラ話すなんて一生無理だ」  
とずっと思ってきました。

かといって、  
「あの人みたいにペラペラ英語で話したい！」  
「色々な国の人と友達になって自由に話ができたらどんなに楽し  
いだろう！」  
という憧れを捨てることは決して出来ませんでした。

私はずいぶん遠回りしてしまったけど  
「あのとき諦めずに英語と向き合っただけで本当に良かった！」  
と今、心から思っています。

英語が使えるようになったことで、キャリアの選択肢はもちろん、  
友人の輪、人生の展望、そして子供にしてあげられることまで大き  
く開けました。だからこそ「英語なんて私には無理」と思ってるあな  
たにも、シンプル英語を習得していただき、英語が使える楽しさや  
喜びを感じていただきたい。

自分が言いたいことを英語で表現出来る楽しさ、自分の語りかけ  
によって子どもの発話も増やせている！というワクワク感を存分  
に味わっていただきたいのです。

今英語が話せないのは、あなたの言語能力の問題ではありません  
ん！才能の差でもありません。

よく使う型とよく使う単語のイメージを明確にして、それを使う練習  
をし続ければ、あなたも必ず語りかけ英語が出来るようになります  
す！！

お子さんにとってもグローバルな社会で生きる以上、英語は出来たほうがいい。

でも学校の英語教育では話せる英語は身につかない。週1の英会話教室でも難しい。

ならば、家庭で取り入れていくしかありません。

ママが子どもに英語で話しかける。そんな光景は日本ではまだ珍しいかもしれません。でも、確実にその数は増えてきています。

本書を読んで一人でも多くの方が語りかけ英語のパワーに気づき、英語も日常的に使う家庭が増えれば「英語が特別視されず、ごく当たり前に使われる日本社会」を目指す私にとってこれ以上の喜びはありません。

初めはシンプルな1単語からでも大丈夫。継続すれば必ず力になります。より多くの親子が語りかけ英語をきっかけに人生の選択肢を広げていけますように。

最後に、電子書籍出版を1からサポートしてくださったベルナードいずみさん、橋本千春さん、山本留美さん、そしていつも支えてくれる語りかけ英語講座の受講生さんたち、夫、2人の娘たちに感謝と愛をこめて！

鈴木明葉

※この本で得られる収益は全てコロナウイルスで困窮している子どもたちへの支援に使わせていただきます。



特別な読者特典！  
Kindle 読者特典5大プレゼント！

せっかく本書を最後まで読んでくださったあなたには、是非語りかけ英語を始めていただきたいと思います。

ただ、本を読んでもどこから手をつけていいかわからなかったり、モチベーションが続かなかつたりもしますよね。  
そこで、この「今日から語りかけ出来る私になる！実践編5大プレゼント」を受けとっていただき、実践してみたいと思います！

今日から語りかけ英語を頑張りたい方はこちら↓

[今すぐプレゼントを受け取る！](#)

(LINEで「語りかけ」と一言メッセージを送ってくださいね！)

自信を持って英語で子育てが出来る未来を開きましょう！

☆レビューをお願いいたします！

この本は私にとって人生初めての出版となります。

過去の苦い思い出や楽しい思い出を振り返りながら魂を込めて書きました。

読みにくい部分があったかもしれませんが、それでも最後まで読んでくださった皆さまに心より感謝申し上げます！

もしよろしければ本書のレビューを書いていただけないでしょうか？(^ ^)

最後のページをめくると、自動的にレビューの書き込みページに移ります。

ご感想や語りかけ英語への意気込みでも、皆さまからお声をいただけましたらとても嬉しいです。

## 著者紹介

鈴木 明葉(すずき あきは)

神奈川県生まれ、早稲田大学卒。TOEIC965点。アメリカで出産育児を経験後、帰国後は学校で英語講師をしながら、子育てママ向け語りかけ英語コーチとして活躍中。自身の「英語が話せない」絶望から「英語がスラスラ出てくる！」と実感できるようになったまでの経験と秘訣を詰め込んだ語りかけマスター講座は、英語苦手ママから「3ヶ月でこんなに自分が話せるなんて信じられない！」と嬉しいお声続出の人気講座になっている。

初版2021年10月発行

著者 鈴木明葉

表紙 山本留美

編集 ベルナードいずみ

橋本千春

発行 みんなのおうち英語ボックス

Copyright© 2021 Akiha Suzuki All Rights Reserved.